

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



U004-04

会場:304

時間:5月26日 11:45-12:05

データ統合・解析システム (DIAS) の概要 Introduction for the data integration and analysis system (DIAS)

小池 俊雄^{1*}
Toshio Koike^{1*}

¹ 東京大学
¹The University of Tokyo

「データ統合解析システム (DIAS)」は、第3期科学技術基本計画の国家基幹技術「海洋地球観測探査システム」の一翼を担うプロジェクトとして2006年に開始された。DIASは地球観測データや数値モデル、社会経済データを効果的に統合し、情報を融合するデータインフラを構築し、地球環境問題を解決に導く知を創造し、公共的利益を創出する。そのため、DIASはデータや情報の相互運用性を高め、異なる分野間でデータや情報を相互に利用できるデータ基盤を構築し、分野を超えて共有できる知の創造を目的の1つとしている。

地球環境分野では、非均質な情報源から超大容量、超多様で複雑な関連性を有するデータを効果的に扱わなければならない。DIASは、超大容量データストレージシステムを効果的に用いて、データのライフサイクル管理、データ品質管理、データ検索、情報の探索、科学的解析、データの部分取得などの支援機能を有するデータ統合・解析コアシステムや、データの相互利用性の改善のために、専門用語・概念や地理空間に関する共通知識（オントロジー）情報を用いたデータ間連携情報システムを開発する。これを支援するために、既存の各種データベースを横断的に検索するシステムを開発して、データベースに関する実装情報等を蓄積する。

キーワード: 地球観測データ, データ統合, 情報融合, 大容量データストレージシステム, オントロジー情報
Keywords: Earth observation data, Data Integration, Information Fusion, Large data storage system, Ontology